1. 施設所管課 観光経済部 部 足尾観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称		日	光市足尾環境学習センタ	ター					
心 政石	所在地	日光市足尾町銅親水公園内								
	名称	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会								
指定管理者	代表者名	秋野峯徳								
	住所	321-1523 日光市足尾町松原2-9								
指	定期間	平成27年4月1日	~	令和2年3月31日		5年間				
選定方法		公募 非公募		評価実施年		5 年間のうち	4 年目			
施設	設置目的	日光市足尾環境学習センターは市の観光の振興及び公共の福				客の利用の促進を図	り、本			
主な実施事業		・同センターの指定管理(平成1 ・銅親水公園仮設トイレ清掃業 ・国土交通省渡良瀬河川事務府 ・当会主催の体験植樹との連携 ・公園内整備に用いる草刈り機	務委託(平 fより、体駅 による体駅	成23-26年、平成27-現 負植樹支援業務委託(平 食型の環境学習を実施。	在に至る) 成14年以降、	現在に至る)				

3. 利用状況(目標と実績)

	成果指標		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
а	施設入館者数	人	15,000	14,869	15,500	14,045	15,000	11,247	12,500	10,658	12,500	
b												
С												
d												
е												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収入	収入計 A		4,825,254	4,675,733	4,600,312	4,580,629	0
	指定管理料		3,120,000	3,120,000	3,120,000	3,120,000	
	利用料	料収入 C	1,513,480	1,395,875	1,221,780	1,227,900	
	自主	事業収入	186,974	159,858	258,532	194,009	
	その他		4,800			38,720	
支出	支出計 B		4,711,325	4,617,290	5,022,590	4,337,477	0
	指定事業費		4,634,185	4,556,670	4,951,960	4,243,465	
		内人件費 D	2,579,625	2,618,200	2,707,300	2,766,495	
		内外部委託費 E					
	自主	事業費	77,140	60,620	70,630	94,012	
事	事業収支 A-B		113,929	58,443	-422,278	243,152	0
ر	人件費率 D/B		54.75%	56.70%	53.90%	63.78%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		比率 E/B	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補	足説明	
7111	化	

サービス改善の状況

施設の設置目的及び事業計画に沿って日々の管理運営を行っているが、施設の老朽化やトイレの数の不足、駐車場の不足及び展示物のマンネリ化といった課題も残っている。故障等に代替の機器で対応する、トイレについては仮設トイレの利用を促す、事前予約を推進し団体利用をスムーズにする、展示についてはスタッフが補足説明をする等の対応をしているが、今後も日光市と協議の上、よりよい施設となるよう改善していきたい。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
①	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	Α	В
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	Α	Α
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	В	В
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	В	В
サ		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	Α	В
Ιí	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	Α	В
Ė	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	Α	В
」え	四八月秋休吱	個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	В	В
l ô	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	В	В
履	月刊 乙 升]	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	Α	В
行	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	Α	В
	自生心外	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	Α	В
確	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	В	В
認	廷和嗣正	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	В	В
部心		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	В	В
	緊急対応	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	Α	В
		避難経路が適切に確保されている。	Α	В
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	В	В
	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	Α	В
	心故自垤	事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	В	В
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	Α	Α
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	Α	В
(2)		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	В	В
② サ	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	В	В
Ιí		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	В	В
Ľ		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	Α	В
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	Α	Α
l ô		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	Α	Α
質		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	В	В
りの		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	В	В
評	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	В	В
一価	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	С	С
ТЩ	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	Α	В
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	В	В
		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	В	В
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	В	В
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	В	В
3	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	Α	В
安定性	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	Α	В
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	Α	В
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	В	В
注	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	В	В

(指定管理者自己評価)

施設の設置目的及び実施事業に沿って管理運営ができた。利用者減少に歯止めをかけるため、自主事業や施設のインターネットインフラ整備を行い、利用者の利便性の向上、また情報公開及び情報共有の向上につながった。施設の老朽化等の課題もあり、今後も日光市と協議の上、よりよい施設となるよう改善策を検討し実行していきたい。

所見 (成果·課題等)

(所管課評価)

施設の経年劣化が進み、展示品がマンネリ化している中で、松木渓谷における体験植樹や講演会等自主事業の実施により、利用者の減少率が低下し、利 の減少に歯止めがかかった。講演会等を実施して歳入の確保に努めているほか、課題となっている雨漏りに対しては、独自に対策を講じており、適切な管理 今後の課題としては、令和元年度で実施しているトップライト改修工事調査設計業務を受けての改修工事の実施。及び、マンネリ化している展示品のリニュ

上げられる。引き続き指定管理者と連携して対策を講じて行く。

B(良好) 前年度総合評価 B(良好) 総合評価

※評価区分

評価基準

A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 **総合評価** A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 B(良好) = A、C 以外

B(良好) = A、C 以外

C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上

C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。